



楽しい出会い 広がるつながり

# NPO法人仙台スラックライン

スラックラインは綱渡りのように、細いベルト状のラインの上でバランスを楽しむスポーツです。このスポーツの普及・健康づくりを目指し活動しているのは「NPO法人仙台スラックライン」。2015年設立で、当初はスラックラインを楽しむサークルでした。

代表の菅原正志さんが仙台に引っ越してきたとき、見知らぬ土地だったため友達がほしいという想いから、団体を立ち上げました。「どうせならホームページも作ろう」と奥さんの美幸さんがホームページを開設したところ、もともと個人でスラックラインを楽しんでいた大人たちが、次々に集まって活動に参加するようになりました。次第に家族連れの参加が増えはじめたり、各イベント関係者の目に留まり、イベントにも呼ばれるようになりました。

活動によく参加する人の中には「スラックラインは家族共通の趣味」と話す方もいて、家族のつながりづくりにも一役買っています。

2018年に法人化し、現在は仙台市太白区長町や川崎町での定期的な活動や各種イベント出展のほか、福祉事業所で障がいのある人にもレクチャーしています。夜間のスクール開設も検討中と、今後の活動にも期待です！

各種イベントの出展依頼も受付中！



活動で出会った人たちはみんな家族のようだと、菅原さんは楽しそうに話してくれました。



「ボケ防止」「足腰が丈夫になる」「孫が『かっこいい』と言ってくれる」菅原さんは個人的な目標も掲げて、楽しく活動に取り組んでいます。

詳しくはホームページをチェック！

仙台スラックライン 検索



## ヒント from たがさぼPress

たがさぼのブログから、地域づくりに役立つ記事をご紹介します！

- 2019年6月4日(火)掲載 / 目標設定をSMARTにするフレームワーク
- 2019年6月13日(木)掲載 / ここにあります。放課後の安心できる子どもの居場所
- 2019年6月25日(火)掲載 / あなたの団体にとって、ボランティアとは？

### “たがさぼPress”とは？

たがさぼスタッフによるブログ。興味があれば「たがさぼPress」へ！  
<http://blog.canpan.info/tagasapo/>



## “tag”のアンケートのお願い

今後の誌面づくりの参考にしたいと思いますので、ぜひご協力をお願いします！  
また、以下のような情報もお待ちしています！

- 自分たちの団体を取材してほしい
- ユニークな活動や、地域のためにがんばっている団体・人を知っている
- こんな話題を取り上げてほしい

## たがさぼからのお知らせ

たがさぼが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

### 「市民の発信力強化」講座 参加者募集！

地域を元気にしたいと活動するその想い、伝えたい人に伝わっていますか？あなたの想いをデザインで伝える名刺づくり、伝えたい相手に直接届くプレゼンテーションを、ワークで体験的に学べる講座です。団体のPRに課題を感じているNPOのみなさん、ぜひご参加ください。

#### ・1回目「伝える名刺づくりのコツ」

日時 8月25日(日)午前10時～午後1時  
講師 林田全弘氏(小さなNPOを応援するグラフィックデザイナー)

#### ・2回目「伝えたいコトを伝えたい人に伝えるプレゼン講座」

日時 9月7日(土)午前10時～午前11時30分  
講師 たがさぼスタッフ

会場 各回とも多賀城市市民活動サポートセンター  
定員 各回15名(営利目的のご参加はお断りしております)  
参加費 無料  
申込み 電話(022-368-7745)または右の申込みフォームから  
問合せ 022-368-7745(多賀城市市民活動サポートセンター)

申込みはこちらから



## 「学びたい!」人に学びの場を～学び処しおがま～

今、地域では生活に困っている家庭を支援しようと「学習支援」や「子ども食堂」の活動が増えています。多賀城・塩竈地域でも、学習支援を行う団体の動きがあります。

学びに来るだけじゃなくて、  
そこが居場所になるんだね



### 1 マナシオに来る子どもたち

「学び処しおがま(以下、マナシオ)」は、JR仙石線下馬駅前にあります。毎週土曜日の午前中に、小中学生を中心に学習支援を行っています。子どもたちは学校の宿題などを持参し、学習ボランティアのアドバイスを受けながら自分のペースで学習を進めます。

マナシオに通うのは、家庭の事情などで一般の学習塾に通えなかったり、学校の授業についていけない、友達と一緒に学習したいと考えている子どもがほとんどです。



10時になったら、まずは朝の会をやりま。今週のできごとを発表しあったり、俳句やことわざなど、楽しいワークをみんなでやってみます。

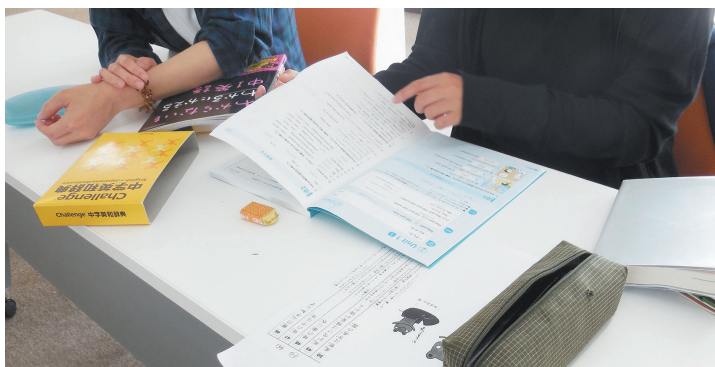
### 2 まずは、できることから

立ち上げに関わったのは3人の有志。彼らは学習・子育て・介護で困っている人へのサポートや、悩みを話せる居場所づくりがしたいなど、それぞれ持っている想いを話し合ってきました。打ち合わせを重ねて「準備に時間をかけずに、すぐできることはなんだろう」と考え、「学習支援」をしていくことを決めました。

そこに加わったのが現代表の清水仁さん。清水さんは、塩竈市や東京都で教師として30年ほど勤務しており、仙台の夜間中学の立ち上げに携わっていたこともあるそうです。こうした経験から、マナシオでは何らかの理由で義務教育を終えられなかった人の受け入れも可能となっています。

### 3 これからの支援のかたち

今は、地域の方の協力のもと下馬駅前のビルの一部屋を借りて「来てもらって」学習支援を行っています。今後は「出向いていく」支援も必要なのではないかと感じているそうです。不登校などで外に出られないような状況にある子どもたちの中には、きっとこの場に来ることが難しい子もいるはず。 「家に来てほしい」という声をどう拾っていくかが今後の課題だと清水さんは話していました。



学習の様子。マンツーマンで質問もしやすいです。



ボランティアの方々も楽しそうに勉強を教えています。

#### 学び処しおがま(マナシオ)

毎週土曜日 午前10時～12時  
多賀城市下馬2丁目8-21 エンドービル(JR仙石線下馬駅前)  
問い合わせ:090-3753-4386(担当:清水)

学習ボランティアも募集中です!



教えるのが好き、子どもが好き、ボランティアがしたいといった方の参加をお待ちしています。教員免許や指導経験は不問で、大人の方ならどなたでもOK。高校生の参加もお待ちしています。